

CT装置のご紹介

当院はGE社製のCTを2台設置しており、検査内容に応じて、適切な検査を行うことが可能です。



マルチスライスCTとは??

一回の撮影で複数のスライスが得られるので、スクリーニング検査から病変のより詳しい検査まで一度にカバーすることができます。そして輪切りの画像の厚みを2~1mm以下にして撮影することにより高精度な3D画像が得る事ができます。

MDCTとは、人体方向に長さを持つためより短時間で広い範囲の画像が得られるので、胸部や腹部の検査で必要な息止め時間を短縮することができ、息止めの困難な患者さんの苦痛を最小限にすることができます。

このように任意の検査部位を短時間で精度の高い画像として得られることができます。

超被ばく低減装置『Vevo』とは

当院のCT装置は『Vevo』を使用しております。

『Vevo』は一般X線撮影並みの低被ばくと高画質を両立させたCT用画像再構成技術です。患者さんの負担を軽減するほか、低被ばくながら病変部の位置を従来のCT以上に正確に描出できるため、これまで被ばく量の関係でCT検査が難しかった骨盤や肝臓・膵臓・腎臓内の腫瘍の早期発見への貢献が期待されています。

CT ~ 3つのメリット ~

MERIT 1

検査機器の性能

検査機器の性能に
こだわっています



CT検査に関わる多くの
ニーズに対応するため
256列・64列GE製の
CTを導入しています。

MERIT 2

当日検査

午後は当日中に
検査できます
どこよりも早いです

お電話一本で
今日できます



午前中の問い合わせは
もちろん、午後の問い
合わせでも午後検査に
間に合います。

MERIT 3

撮影技師

放射線診断医・X線CT認定
技師管理のもと要求に従っ
た検査を行っています



撮影技師も専門化し、
豊富な検査症例
(20,498件/年) 撮影
の工夫に繋がっています。

【検査項目】

- ・ 頭部：出血、その他頭蓋内病変の検出
- ・ 副鼻腔：副鼻腔炎、眼窩病変の診断・評価
- ・ 胸部：肺異常陰影の検出 肺炎評価
- ・ 腹部：急性腹症・腫瘍病変の診断・評価
- ・ 椎体：圧迫骨折・すべり症etcの評価